

一、次の文章を読んで、あとの設問に答えなさい。

われわれは平生、「時がたつ」その仕方について、どのようなイメージをもっているであろうか。われわれの日常の経験では、ひとを待つときの時間は長く感じられ、何かに夢中になっているときの時間は短く感じられる。時間の流れ方は、状況によって異なるかに見える。しかし、幼児ならともかく、多くの成人は、そうした時間の流れ方の違いはいわば [ア] 的な感じ方の違いであって、本当の [イ] 的時間は、主観のそのときどきの状況とは関わりなく、刻々均一に経過しつつあり、その均一さは、時代や場所の違いを超えた [ウ] 的なものだ、と考えていることであろう。事実、私が何かに夢中になって、時間を短く感じているその間に、「標準時」に合わせた時計が刻々と時を刻み、それを他の人が見て [エ] タイクツするということもありうるであろう。それに、どんな自然科学者や歴史学者も、仮に時代の違いによる地球の回転速度の変化について語ることもあるにしても、時間の経過それ自体が時代によってその速さを変えろといった言い方はしな思われる。われわれの [エ] 的な捉え方からすれば、時間はやはり、天上か地上かの違いには無関係に、永遠の昔から現在に至るまで全く同一の速さで流れ来り、永遠の未来に向って流れ続けていく全宇宙的な普遍の流れなのである。

【一】、そうした時間の流れが不可逆なものだということも、われわれの常識に属することであろう。【二】、時間の流れには、現在の瞬間が過去に消失し、さつきまで未来であった瞬間が現在になるといふ一定の方向があり、その方向を逆転して、過去を現在にたぐり寄せるようなことは絶対にできない、とわれわれは考えているのである。その意味では、^(注1) ニュートンが言ったように、常識的時間の各部分の順序も不変でなければならぬ。【三】、実を言えば、この不可逆性に当面して初めて、われわれは時間の存在を痛切に意識し、そして時には、時間の問題を人間論の最も重要な一章に付け加えることにもなるのである。【四】、一切が同時に存在する無限な空間にあっては、その部分が相互に交換可能であるのに、^(注2) タイヒすると、時間の存在理由はおそらくその不可逆性という点にこそあることになるうし、一方、人生の重大事も多くは〈取り返しつかないこと〉に成り立つのであり、したがってそれらは同時に時間的な問題でもあるからである。^(注3) ハイデガーにおいても、「死」は必ずしも生理学的死亡を意味するものではなく、あくまでも実存の存在可能性としての「終末」であったが、それにしても、もしその終末が可逆的なもので、いつでも元に戻しうるものだとしたら、ハイデガーにおいても、あれほど死が問題になることはなかったであろう。ハイデガーが死を「現存在が絶対に不可能になることの可能性」として、それを「最も極限的な可能性」と呼ぶとき、彼も時間の不可逆性を暗黙のうちに前提していたのである。

したがってまた、時間は、さまざまな事物の運動や生成・消滅など、一般に変化と呼ばれるものの原理でなければならない。もちろん、時間があるから変化があるのか、それとも変化があるから時間があるのかと尋ねられたとき、誰もが ^(注4) ソクトウを用意しているわけではないであろう。たとえば、^(注5) ベルクソンには、次のような言葉がある。「時間とは、あらゆるものが ^(注6) イツキヨに与えられてしまふことを妨げるものである。時間は遅らせるもの、あるいはむしろ遅れである」(『思考と動くもの』)。

これは、時間に積極的な働きを認めた言葉のようにも受け取れるが、実は、あらゆる変化には時の経過が必要であるということを持ただそのように言いかえたと見ることもできる。もちろん、時間は物ではな

いから、時間が物のような形で他の物に働きかけるといふことはありえないであろう。しかし、われわれは時間を介さずに変化を考へることができないといふことも、事実である。変化とは、或る物について、或ることがなくなつて別の物が現れたり、その物自身が消滅して、そこに別の物が現れることであるが、なくなつた事物に関してわれわれは過去の時を語り、現れようとしている事物に関して未来の時を語るからである。そして、一見完全に静止しつづけるものでさえ、時間の一種の浸蝕作用によつて、しだいに古びていかざるをえず、よく言われるように、(A) この世のすべては「無常」である。といふことは、われわれにとつても、時間はあらゆる事物の継起を支配する絶対的な器だといふことにはかならないであろう。

(注1) ニュートン——一六四二〜一七二七。イギリスの物理学者。万有引力の法則を発見した。

(注2) ハイデガー——一八八九〜一九七六。ドイツの哲学者。主著『存在と時間』

(注3) ベルクソン——一八五九〜一九四一。フランスの哲学者。主著『物質と記憶』『創造的進化』

(滝浦静雄『時間―その哲学的考察―』岩波新書 一九七六、による)

問一、傍線部(あ)～(え)のカタカナの部分と同じ漢字を使うものを、それぞれ1～4から選びなさい。
【あ…解答番号1、い…解答番号2、う…解答番号3、え…解答番号4】

- | | | | | | |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|
| (あ) | タイクツ | 1、反タイ | 2、軍タイ | 3、引タイ | 4、忍タイ |
| (い) | タイヒ | 1、ヒ害 | 2、ヒ較 | 3、ヒ難 | 4、ヒ密 |
| (う) | ソクトウ | 1、ソク時 | 2、規ソク | 3、ソク定 | 4、催ソク |
| (え) | イツキョ | 1、キョ可 | 2、根キョ | 3、キョ絶 | 4、快キョ |

問二、空欄ア～エには、それぞれ「常識」、「絶対」、「主観」、「客観」のいずれかの語が入る。その組み合わせとしてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。
【解答番号5】

- | | | | | |
|----|------|------|------|------|
| 1、 | ア…主観 | イ…絶対 | ウ…客観 | エ…常識 |
| 2、 | ア…絶対 | イ…常識 | ウ…主観 | エ…客観 |
| 3、 | ア…常識 | イ…絶対 | ウ…客観 | エ…主観 |
| 4、 | ア…主観 | イ…客観 | ウ…絶対 | エ…常識 |

問三、【Ⅰ】～【Ⅳ】には、それぞれ接続詞が入る。その組み合わせとしてもつとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。
【解答番号6】

- | | | | | |
|----|--------|--------|--------|---------|
| 1、 | Ⅰ…なぜなら | Ⅱ…一方 | Ⅲ…つまり | Ⅳ…あるいは |
| 2、 | Ⅰ…しかし | Ⅱ…あるいは | Ⅲ…ちなみに | Ⅳ…一方 |
| 3、 | Ⅰ…しかも | Ⅱ…つまり | Ⅲ…そして | Ⅳ…というのも |
| 4、 | Ⅰ…つまり | Ⅱ…なぜなら | Ⅲ…一方 | Ⅳ…しかし |

問四、傍線部(A)「この世のすべては『無常』である。」とあるが、その内容を文脈に即して説明したものと最も適当なものを、次の1～4から選びなさい。
【解答番号7】

- 1、 時間は一般的に変化と呼ばれるものの原理であり、一種の浸蝕作用があるから、万物はすべて永遠の生命を保つことができず、やがては滅んでいき、また新たな生命として蘇って行く。
- 2、 時間はさまざまな事物の運動や変化と呼ばれているものの原理であり、われわれに逆に運動や変化を考えさせるものであるから、人間は必然的に時間の存在に束縛されたはかない存在だ。
- 3、 時間は変化と呼ばれるものの原理であり万物の盛衰の根源を形成するものであるから、人間もその枠の中からのがれることはできず、いつかは変化を余儀なくされ、滅んでいく存在だ。
- 4、 時間は、変化ということ抜きにして語れぬ問題であり、すべての事物の継起も支配する根本原理であるから、恒久不変の存在などというものは、この地上にはありえないものだ。

問五、本文で、筆者は論述上、ニュートン、ハイデガー、ベルクソンの説をどのように用いているか。その説明としてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号8】

- 1、筆者はそれらの説に考察を加えながら自説を展開している。
- 2、筆者はそれらの説の背景にある考え方に修正を加えている。
- 3、筆者はそれらの説を検討して不十分なところを補強している。
- 4、筆者はそれらの説を解説しながら自説を権威づけている。

問六、次の文章のうち本文の趣旨に合うものはどれか。もっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。【解答番号9】

- 1、ニュートンは、時間の各部分の秩序は不変であると説いた。その後、ベルクソンはものには本質的な変化をもたらす作用が時間にはあると説き、ハイデガーは人間の実存を考える際にはどうしても抜きにはできない前提が時間であると説いて、三者三様それぞれの見解をうち出したのである。
- 2、人間にとって時間は普遍的かつ不可逆な永遠の流れとしてとらえられる。しかし、そのような解釈が生まれたのはニュートンの説が成立した後である。その後、ベルクソンはものに変化をもたらす原理として、ハイデガーは人間の実存の根源をなしているものとして、それぞれの時間の意義を主張した。
- 3、時間は明らかに一方方向に流れていくものである。ニュートン、ベルクソン、ハイデガーのそれぞれの時間についての解釈を調べてみても、直線的かつ不可逆な永遠の流れであるとしていることは共通であり、三者三様の解釈はあっても、それらはすべてニュートンの説を土台としている。
- 4、時間はわれわれ人間にとって永遠にして普遍的な流れとしてとらえられる。それはニュートンも説くところであり、われわれの常識の根底も形成している。ベルクソンも時間を変化と呼ばれるものの原理であると説き、ハイデガーも時間の不可逆性を暗黙のうちに認める間の実存を考えたのである。

二、次の文章を読んで、後の問に対する答えとしてもっとも適当なものを、次の1～4から選びなさい。 【解答番号10】

音楽や美術、彫刻などの芸術は、聴く人、観る人の批評によって育てられる。悪い演奏をしたら、良くない作品を出品したら、その芸術家は次に表舞台に出る機会を失う。ところが、医師や看護師が行う医療の実践を評価できる患者は作られてこなかった。一般の人に知識を与えず、医療について評価できる患者がいない。だから医療のアートが発展しないのである。これは患者にとってはもとより、医療者にとっても不幸なことではないか。

(日野原重明『いのちの言葉』春秋社、二〇一三、による)

問 筆者がここでもっとも言いたいことは何か。

- 1、きちんとした医療の実践ができない医療者は表舞台から去るべきだ。
- 2、医療者を不幸にしないために、一般の人に知識を与えなかった。
- 3、医療も芸術と同様に、医療の良し悪しを評価できる患者が必要である。
- 4、悪い演奏や良くない芸術作品は、病院における医療事故と同じである。

三、11～15について、正しい読みを1～4から選びなさい 【解答番号11～15】

- | | | | | | |
|----|----|---------|---------|---------|---------|
| 11 | 攪乱 | 1、さくらん | 2、かくらん | 3、こんらん | 4、はんらん |
| 12 | 悠久 | 1、はんきゆう | 2、しんきゆう | 3、こうきゆう | 4、ゆうきゆう |
| 13 | 閑散 | 1、しんさん | 2、かんさん | 3、もくさん | 4、こうさん |
| 14 | 教諭 | 1、きようじゆ | 2、きようろん | 3、きようゆ | 4、きようそく |
| 15 | 静観 | 1、せいかん | 2、せいがん | 3、じようかん | 4、じようがん |

四、傍線のことばにもっとも意味が近いものを1～4から選びなさい。 【解答番号16】

・田中さんは単なる友人です。

- 1、大切な
- 2、一生の
- 3、ただの
- 4、唯一の

五、傍線のことばの使い方としてもっとも良いものを1～4から選びなさい。 【解答番号17】

- 1、弱い立場の人をいたわるのは大切なことです。
- 2、山田さんはこれまでの努力をいたわってくれました。
- 3、母は孫が遊びに来たら、いつもいたわっていました。
- 4、政治家は国民の生活をいたわるべきです。

六、傍線のことばについて、()に入る対照的な意味の語を1～4から選びなさい。 【解答番号18】

・職場ではいつも寡黙な彼が、飲み会となると途端に()になるから不思議だ。

- 1、喧伝
- 2、世辞
- 3、饒舌
- 4、雄弁